

八女市の木庭健一さんが第65回日本酪農研究会で最優秀賞(黒澤賞)を受賞されました！！

日本酪農研究会は、日頃の経営成果と実践活動の発表を通して、技術の交流や諸問題の解決を図るなど、わが国酪農の生産発展に寄与することを目的として日本酪農青年研究連盟主催により開催されております。

この度最優秀賞(黒澤賞)を受賞されました木庭さんは八女市で酪農経営を営んでおられ、平成24年の九州北部豪雨では大きな被害を受けられました。しかし、それに負けることなく、逆境をバネに、繁殖成績の改善や、暑熱対策、乳房炎対策などに、また、オカラサイレージの給与や、デントコーン、WC S用稲の作付けなど飼料生産対策にも積極的に取り組まれ、売り上げの拡大や生産コストの低減を果たされました。このようにご自身の努力、そして地域の方々の励ましと連携により、災害前以上に経営の改善向上を図られました。これらの取組みがこの度の受賞につながりました。

下の写真は本会へ受賞のご挨拶に見えられたときのものです。

